人に未来を。医療に明日を。
MEDIUS

2026年11月９日

各　位

会 社 名　メディアスホールディングス株式会社
代表者名　代表取締役社長　芥川　浩之
（コード番号：3154、東証プライム）
問合せ先　経営推進本部長　伊奈　佑規
（TEL. 03－6811－2958）

（訂正）「2026年６月期 第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部訂正について

2025年11月11日に公表いたしました「2026年６月期 第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」につきまして、一部記載に誤りがありましたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、訂正箇所は下線を付して表示しております。

記

１．訂正の理由

「2026年６月期 第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の「(セグメント情報等の注記)」のうちセグメント利益の集計に一部誤りがあることが判明したため、訂正するものであります。

なお、本訂正による連結財務諸表への影響はございません。

２．訂正の内容

＜添付資料 ２ページ＞

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

【訂正前】

（省略）

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①医療機器販売事業

消耗品については、整形外科領域・循環器領域を中心に症例増加及び新規顧客獲得の進展に伴い、売上高が拡大いたしました。備品については、大型の放射線治療装置の販売があった一方で、前年同四半期における特需案件等の影響により、売上高は前年同四半期と比較して減少となったものの、セグメントの売上高としては拡大いたしました。

また、事業規模拡大等により販売費及び一般管理費は増加しておりますが、増収によりセグメント利益も増加いたしました。

この結果、売上高は70,753百万円(前年同四半期比4.5%増)、売上総利益は7,911百万円(同3.7%増)、セグメント利益(営業利益)は2,383百万円(同6.0%増)となりました。

【訂正後】

（省略）

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①医療機器販売事業

消耗品については、整形外科領域・循環器領域を中心に症例増加及び新規顧客獲得の進展に伴い、売上高が拡大いたしました。備品については、大型の放射線治療装置の販売があった一方で、前年同四半期における特需案件等の影響により、売上高は前年同四半期と比較して減少となったものの、セグメントの売上高としては

拡大いたしました。

また、事業規模拡大や物流コストの高騰等により販売費及び一般管理費が増加しているため、セグメント利益は減少いたしました。

この結果、売上高は70,753百万円(前年同四半期比4.5%増)、売上総利益は7,911百万円(同3.7%増)、セグメント利益(営業利益)は2,126百万円(同5.4%減)となりました。

＜添付資料 ９ページ＞

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

【訂正前】

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間(自 2025年７月１日 至 2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)１	四半期連結損益計算書計上額(注)２
	医療機器販売事業	介護・福祉事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	70,753,408	1,415,041	72,168,450	－	72,168,450
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,057	－	4,057	△4,057	－
計	70,757,466	1,415,041	72,172,507	△4,057	72,168,450
セグメント利益	2,383,156	116,354	2,499,511	△2,340,859	158,651

(注) １．セグメント利益の調整額△2,340,859千円には、セグメント間取引消去5,019千円、のれん償却額△74,844千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,271,034千円が含まれております。全社費用は、主に親会社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【訂正後】

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間(自 2025年７月１日 至 2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)１	四半期連結損益計算書計上額(注)２
	医療機器販売事業	介護・福祉事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	70,753,408	1,415,041	72,168,450	－	72,168,450
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,057	－	4,057	△4,057	－
計	70,757,466	1,415,041	72,172,507	△4,057	72,168,450
セグメント利益	2,126,065	116,354	2,242,419	△2,083,768	158,651

(注) １．セグメント利益の調整額△2,083,768千円には、セグメント間取引消去5,019千円、のれん償却額△74,844千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,013,942千円が含まれております。全社費用は、主に親会社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

以 上